



2018年(平成30年) 10月25日号

主 内容

- 3……秋の名張川花火大会
- 4……東山墓園の災害復旧
- 5……三重県歯科保健大会
- 6……第61回市美展結果
- 7……伊賀地域二次救急実施病院
- 8……とれたてなばり

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉ pr@city.nabari.mie.jp



名張で始めた農暮らし

名張の住みやすさを実感
私は結婚したのをきっかけに10年前に山添村から名張へ引っ越してきました。奈良で働いていたので、通勤圏内でマイホームを購入したいと思っていました。
実家からも程よい距離で、買い物できる場所がすぐ近くにあることや大阪・名古屋など、都市部へのアクセスの良さなどが主な理由です。
実際に暮らしてみても、都会すぎず程よく田舎で程よく便利で快適に過ごしています。

会社員から名張で農家に転身
私は、2年前に勤めていた会社を辞め、農業を始めました。元々、祖父の農業を小さいころから手伝っていて、畑を借りて野菜を作るなど、農業に関心がありました。
少しずつ「本業にしたい」という気持ちが強くなり、妻を説得しました。有機栽培を教えてくれる名張の農園で研修を受け、今年農家として、



農場では、モロヘイヤ、ほうれん草、小松菜などを栽培

独立したところです。
暮らしやすいまちでありながら身近に自然が溢れる名張だからこそできたと思います。これから名張の皆さんに私が丹精込めて作った有機野菜をお届けしていきます。



よしつぐ 浦 寛嗣 さん

昭和51年生まれ。10年前に奈良県山添村から名張へ移住。薦原で農業研修を受けた後に独立。現在、妻と3人の子供と梅が丘で暮らしながら農業を営む。



私

名張

に決めました

少子高齢化が進み、全国的に人口が減少していく中、名張を選んで移住してくれる人がいます。今号では、2人の移住者から話を伺うとともに、本市の移住・定住の取り組みをお知らせします。

関地域活力創生室 ☎ 63・7782

建築の力で名張を元気に



木の良さを感じられる工務店を開業
私は、名張で生まれ育ち、21歳まで梅が丘に住んでいました。大阪や奈良の設計会社・工務店での勤務を経て、平成29年から独立して名張で工務店を開業しました。コンセプトは、木の良さを感じることができるとのことです。
自分のやりたい木造建築の仕事として開業する場所をいろいろと考えた時、やはりふるさと名張がいいなと思いました。遠くに山が見える景色も落ち着き

ますし、自然の中で遊んだ思い出のある場所だからです。
生まれ育った名張に活気を取り戻したい
今は空き家を有効活用する時代です。私がリフォームした家に人が住んでくれることで、まさに活気と呼び戻すことができたらと思います。ここでの開業を決めました。
また私自身、昔ながらの風情が残る名張のまちなかにある空き家を貸していただくことができました。少しリフォームしてお客様との相談スペースや名張



野山さんは4人家族。子どもの成長が毎日の楽しみ

の良さを発信できる場として活用できたらと考えています。
名張のために自分のこれまで培ってきた経験や技術を生かして、これから少しずつ恩返しができるかと思っています。

野山 直人 さん

昭和59年生まれ。名張出身。4年前にさまざまな縁から名張へUターン。平成29年にリフォームに特化した工務店を開業。妻と子2人の4人暮らし。

